

3. これからの人権保障

【教科書 P.62~67】

§ 1. 新しい人権 産業や科学技術の発展と人権

幸福追求権(第13条)も根柢に

(1) 環境権 … 良好な環境を求める権利

きれいな水、空気
住む環境、自然権

→ 1993年

環境基本法 制定

高度経済成長
公害の深刻化

環境アセスメント

… 開発にあたり、事前に環境への影響を調査すること

→ 環境影響評価

(2) 自己決定権

…個人が自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する

権利 ← 社会の発展による人々の生き方の多様化

科学技術の発展

→ 生命と人権の間の課題 → 医療の場において インフォームド・コンセント 必要

尊厳死の選択、臓器移植についての臓器提供意思表示カード

→ 治療を止める
安楽死

(3) 知る権利

… 主権者である国民が、政治に参加するために必要なさまざまな情報

報を見る権利
(主権者)

→ 情報公開制度

人々の暮らしの整備 携帯する情報を開示

→ 公正で透明性の高い政治

◎ 知る権利は表現の自由によって支えられている

が実現

マスメディア

… 新聞やテレビなど

(4) プライバシーの権利

… 私生活に関する情報を公開されない権利

・肖像権

誰へも不快感を与える

→ 個人情報保護制度

の整備

表現の自由、報道の自由も制約

(5) インターネットと人権 … 人権侵害や著作権侵害などを防ぐ仕組みの整備が必要

・知的財産権

§ 2. グローバル社会と人権

(1) 人権保障の国際的な広がり … グローバル化の進展とともに、国連を中心となって推進

1948年

世界人権宣言

法的拘束力なし

1965年

人種差別撤廃条約

1966年

国際人権規約

法的拘束力あり

条約により多くの国に人権の保障を義務づける。

1979年

女子差別撤廃条約 → 男女雇用機会均等法・男女共同参画社会基本法

1975

1999

1984年

拷問等禁止条約

1989年

子ども(児童)の権利条約

1989年

死刑廃止条約 ← 日本は未批准

2006年

障害者権利条約・国連人権理事会

2007年

先住民族の権利に関する国連宣言

(2) グローバル社会における人権保障 … グローバル化が進む今日におけるさまざまな問題

→ 地球環境問題、貧困問題、難民問題、エイズへの取り組み、

紛争、テロリズム、国際犯罪など

◎ 国境なき医師団(MSF)などの NGO(非政府組織) の活躍

Non Governmental Organization